

TVや広告のグラフの意図を見抜く

中学校 1年 数学
「資料の活用」
資料の活用

ねらい

- 資料の活用で学んだグラフの作成方法から身の回りのデータを見直し、どのデータを強調しているか、なぜそうしているか、を明らかにする。
- TVや広告のグラフに込められた意図を批判的に考察する。

学習展開

- ① 円グラフ、帯グラフ、などのグラフの種類と特徴を確認する。
- ② 各班にTVや広告に掲載されている誤ったグラフや誤解を生じさせやすいグラフを配布する。学校司書が批判的な見方について説明する。班でそれぞれのグラフの誤りを指摘する。
- ③ 誤りを直し、正しいグラフを書き直すことで、誇張されたグラフに込められた意図を推測する。
- ④ 他の班の意見も参考にし、感想を書く



◆司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭（授業者）は事前に学校司書と打ち合わせ、本時のねらいを確認する。
- 学校司書は必要な資料を用意する。本時ではTV・新聞のメディアで用いられた誇張されたグラフを各班に1枚ずつ準備してもらう。
- 授業では、学校司書が資料紹介と、批判的な見方について支援する。

★指導のポイント

- 新聞やTVだから正しい、といった先入観をなくし、批判的に見る。
- 正しいグラフに直したとき、なぜ誇張した表現をしたか、という意図を理由をもとに考えさせる。

資料

「統計でうそをつく法 数式を使わない統計学入門」／ダレル・ハフ（講談社）